



小千谷市立 総合支援学校 進路だより

No. 6 (R 1 / 1 2 / 2 3)
〒949-8721
小千谷市大字塩殿甲 2144 番地
TEL 0258-82-1878

中学部 校内実習を行いました

今年度、中学部では11/25～12/6の「2週間」、校内実習を実施しました。
昨年度までは「1週間」の校内実習でしたが、高等部に進学すると6月に「3週間」の校内実習を実施するので、中学部でも「今年度は2週間」という期間を設定しました。実習中は「作業のテーマ」を設定し、生徒一人一人が自分に必要なテーマへ向かい、達成へ向けて取り組みました。（今回の「中学部校内実習」については中学部が担当しました）

～作業のテーマと作業内容～

テーマ	作業内容
① いろいろチャレンジ	里芋袋のシール貼り、スリッパ拭き
② 出来ることを増やす	木工作業、清掃（体育館用具室、外回り、花壇など） 封筒のリサイクル
③ 最後まで続ける	ドリルケースのシールはがし、掃除（ユニオンツールから受託）
④ 農耕にチャレンジ	畑作業（里芋・豆の収穫、マルチの片付け、畑の整備など）

いろいろチャレンジ



ドリルケースのシールはがしや掃除、またスリッパ拭きや里芋を入れるための紙袋作りなど、さまざまな仕事にチャレンジしました。指や手の力を駆使して、シールをはがしたり、作業によってはさみや雑巾など道具を使い分けたりしながら仕事を進めました。雑巾を使ったスリッパ拭きは、「ゴシゴシ」や「1、2、3」とリズムを刻むといった工夫を取り入れました。

出来ることを増やす



普段はクラフトグループに所属している二人。この機会に木製の皿の作成に挑戦しました。のこぎりを使った木材カットや、ベルトディスクサンダー、卓上ボール盤による木材加工等を行いました。日を追う毎に道具の使い方や力の入れ具合のコツを掴み、安全かつスムーズに作業を進めることができました。また職員室から依頼を受け、駐車場の落ち葉拾い、放送室の清掃、封筒作成にも取り組みました。「出来ることを増やした」2週間となりました。

最後まで続ける



ドリルケースのシールはがしと掃除を行いました。午前2時間、午後1時間、ひたすら同じ作業を続けましたが、工夫しながら効率よく作業を進めることができました。私語せずに黙々とやり続けるだけでなく、「できました。見てください」と報告し、次の仕事を受け取る際に「はい、わかりました」と、きちんとした受け答えをすることも身に付きました。

農耕にチャレンジ



地域の方から借用している畑で、4月から農耕の活動に取り組んできました。校内実習では3名が農耕のグループとして活動しました。寒く雨が多い時期でしたが、雨具や帽子、ゴム手袋など作業の環境に合わせた身支度をして取り組みました。自分が使う道具をきれいにしておいたり汗で濡れた体操着を洗濯したり、翌日の活動への準備も生徒自身が取り組みました。

畑では里芋と黒豆の収穫と畑で使った黒マルチの片付けをしました。自分たちで声を掛け合い、任された仕事を達成できるように協力していました。

中学部 職場見学にも出かけました

～ひかり工房・イオン小千谷店～

校内実習期間中、ひかり工房とイオン小千谷店を見学しました。

ひかり工房の平澤様から、

「仕事で大切なことは、

・『自分から挨拶ができる』

・『休まない』

・『身なりを整える』

・『分からないことを質問できる』 ことです」と教えていただきました。

イオン小千谷店では実際に卒業生が仕事をしている姿を見た後、質問に答えていただきました。

卒業生からは、「従業員の人とコミュニケーションをとること。特に言葉遣いに気をつけている」と教えていただきました。

卒業生の姿を見て、何年か後の自分の姿を考えた生徒もいたようです。



～実習を終えて～

校内実習・職場見学を終えて、これから頑張ることを考えました。
「苦手なことも頑張る」など、一人一人新たな目標をもつことができました。



4月当初、進路指導主事から「仕事をすると『しあわせ』になる仕組み」について話を聞きました。4月から作業学習（製品作り）に取り組み、学習発表会で販売し、たくさんの売り上げがありました。今回の校内実習でも、黙々と作業に取り組みました。仕事をした報酬として、校内実習の最終日に学部主事から給料袋が手渡されました。初めは、給料袋が何か分からなかったようでしたが、中を見るとお食事券が入っていることが分かり、とても喜んでいました。

仕事をすると、「しあわせ」があることを生徒たちは実感できたのではないかと思います。12月20日の校外学習でレストランに行き、好きなお食事券を使って好きなものを食べました。



PTA 進路研修 みのわの里

『更生園』・『療護園』 見学会レポート

(PTA 環境進路担当 松川)



～百聞は一見にしかず～

12月18日に越路の入所施設、みのわの里更生園と療護園を見学させていただきました。7名の保護者のみなさまからご参加いただきました。



まず印象的だったのが、とても「綺麗」だということです。設備の新旧はありますが、どこも清掃が行き届いており、清潔です。

次に感じたのは、「広い」ということです。特に療護園は車椅子を利用される方が中心ですので、廊下も玄関もホールも広々としていました。

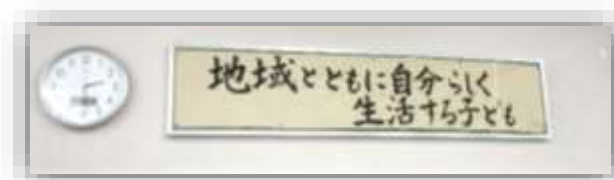
さらに、居住空間のあちこちに生活が楽しくなるような飾りや工夫がありました。ご好意で数名の利用者様からお部屋を見せていただきましたが、どのお部屋も趣味が反映されており、生活の充実ぶりが伺えました。



施設の開設は昭和57年ですが、平成25～27年にかけて開所以来初となる大規模改修、増築を行いました。これを機会に個室を増やしたり（以前は4人部屋が基本）、ユニット（少人数の生活グループ）ごとに独立した支援を行ったりするなどの取り組みを実施。

お一人お一人の「じぶんらしい生活」を支えています。さらに「施設生活から地域生活への移行」を目指し、入所者がグループホームへ移行できるようにバックアップしたり、日中活動を施設外で行うことで365日24時間同じ環境での生活とならないように工夫したりしています。

見学会後、学校職員室でふと教育目標が目に入りました→「子ども」と「大人」の違いこそあれ、目指しているものは同じだということを改めて確認することができました。



～よいお年をお迎えください 来年もよろしくお願いいたします～



〒949-8721

新潟県小千谷市大字塩殿甲2144番地

小千谷市立総合支援学校 進路指導主事(松川正太郎)

TEL 0258-82-1878

FAX 0258-82-1889

E-mail sogosien@ojiya.ed.jp